

第3回次世代育成支援対策地域協議会 会議録概要

日 時	平成22年2月14日（日） 午前10時から午前11時15分
場 所	笠間市役所 中会議室
出席者	<p>山口市長</p> <p>【出席委員】 佐藤副委員長, 増淵委員, 常井委員, 湊委員, 柴山委員, 村上委員, 前川委員, 藤岡委員, 秋本委員, 鈴木委員, 岡部委員, 高橋委員, 中庭委員, 岡野委員</p> <p>【欠席委員】 安田委員長, 清宮委員, 打越委員, 染谷委員, 小菅委員, 畑岡委員</p> <p>【事務局】 櫻井子ども福祉課長, 海老沢少子化対策室長, 岡野主査 浜田まちづくり研究所所員</p>
傍聴人	0人
会議次第	<p>1. 開 会</p> <p>2. 副委員長あいさつ</p> <p>3. 議 事</p> <p>(1) 笠間市次世代育成支援行動計画「かさまっ子未来プラン」後期行動計画（案）に関するパブリックコメントの結果について</p> <p>(2) 後期計画の概要版について</p> <p>(3) 保育所整備に関する検討会の結果について</p> <p>(4) その他</p> <p>4. 閉 会</p>

<p>会議内容</p> <p>委員長が欠席のため副委員長が会議を進行する。</p> <p>市長あいさつ</p> <p>議事（1）笠間市次世代育成支援行動計画「かさまっ子未来プラン」後期行動計画（案）に関するパブリックコメントの結果について</p> <p>事務局 資料1に基づき説明 以下、主な発言</p> <p>副委員長 ただいま説明がありましたように市民からの意見は無かったという事で、これに対する協議はございません。 計画案についてはご了承願います。 ここで、少子化対策等についての市長の考えをお聞きしたいと思います。</p> <p>市長 最初に、パブリックコメントについてですが、この計画だけでなく、ほとんど意見がないのです。パブリックコメントやっても意見が出ない。何かいい考えがあればよろしく願います。</p>	
---	--

今後も、少子化対策と農業政策、医療・福祉を重点施策といたします。

これまで、保育料の軽減、子育て支援センター、不妊治療補助など進めてきました。これで、すぐに効果が上がるものではありませんが、地道に継続的に行うことが大切であると思っています。

22年度については、少子化対策として厚みを加えています。子育て支援センターについては友部地区にありませんので、複合的な児童館をつくる中で考えています。

また、放課後児童クラブの時間延長など、きめ細かな対応も進めます。

さて、少子化の基本となるのは結婚であり、その基本は出会いです。県は「出会いサポート事業」をやっています、それなりの成果があります。

市では、ライオンズさんとか民間団体がお見合いパーティーを実施しており、市はそれに補助しています。

なかなか、成果は目に見えてはあがっていませんが何組かはお付き合いが始まったように聞いていますので、継続して行きたいと思っています。

昔は結婚相談員さんとか、仲人さんとかの活動があったのですが、今はそういうことがなくなりました。

それにかわるシステムができればいいなと思っています。

保育所の整備、幼稚園のあり方につきましては、合併時からの課題ですが、なかなか本格的な議論が進んでいません。

実は、現在、小中学校の適正規模検討委員会というのがスタートしておりまして、それらと、同時並行・進行するのはちょっと無理ではと危惧しています。

国の幼保一元化も急速に進んでいくと聞いております。

それらの方向付けも必要かと思えます。

報告書にもありますように、合併前から職員の採用を控えておりまして、臨時職員のウェイトが高いということで、早く方向性を出したいと思えます。

話は変わりますが、今年から「健康ダイヤル24」というのを始めたのですが、皆さんわかりますか？あまり、ご存知ないですね。

役所のPRが悪いのか、市民の関心がないのか、知られていません。

電話で相談すると、地域の病院や相談先を教えてください。

毎月200件くらい相談はあります。

県は夕方までですか、市は24時間です。

市報や回覧版で周知していますが、ほとんど知られていないのです。

固定電話に貼るシールも配っているのですが、なかなかつたわりません。

行政施策をどうやって市民に伝えるか。市民も知っていれば得する事が多いのですが。

副委員長 せっかくの機会なので意見交換をしたいと思えます。

意見 区長を通じて市報を流すのですが、なかなか見てくれません。

区長さんに周知徹底をお願いしたり、関係する事ならば学校などに個別に対応することも必要ではないでしょうか。

意	見	子ども手当で子どもを産む人がどれくらい増えるでしょうか。
市	長	<p>私の感じでは、国民全体で子育てを支えると考えは必要だと思います。しかし、子ども手当で子どもを増やそうという意識にはつながらないと思う。</p> <p>今、お子さんを育てている保護者にとっての経済的支援になる。一方で、子ども手当が子どものために使われるのかという危惧もあります。</p> <p>笠間で14億、1万人が該当します。全額になれば、笠間で30億です。この前の定額給付金では、全国で2兆円規模ですが、経済効果は6,000億だということです。</p> <p>貯蓄にまわる可能性があります。都市部と地方では考えが違いますが、都市部では子ども手当はありがたいが、保育所の整備にウェイトをおいてもらいたいという意見が多い。地域によっては経済的支援が効果的という意見もあります。</p>
意	見	子ども手当はありがたいかもしれませんが、子どもを増やすということまでいくかどうか。
意	見	<p>4年制大学出さないと就職もない。子どもを育て上げるには一人あたり1,000万円かかる。今の親の収入からいうと4人・5人育てるのは難しい。大学をでないと就職できないという状況を変える必要があります。4年制大学に50%の人が行くこと自体どうなのだろうか。子どもの教育にお金がかかるということを変えないといけません。社会全体が変わらないと。</p>
意	見	<p>働く女性が増えていますから、男女の意識のあり方も大きいと思います。変わっていかないといけない。男性の育児休暇はほとんどないと思います。</p>
意	見	<p>男女の出会いも大切ですが、子どもが生まれた場合は、子どもを安心して預けられる場所が必要です。</p> <p>次に、教育の問題です。現状では、東京あたりでは中学受験が当たり前です。小学校の3年生から受験勉強ですし、塾の費用も大変かかります。公立の学校は心配だという声もあります。例えば、いじめの問題とかが心配だという話があります。今では大学に入った人の親の年収が高い人は東大です。格差社会が進んでいます。年収200万円以下の若者が多い。結婚できない。子どもを産めない。</p>

教育も含め、お金がなくても子育てできるシステムをつくらなくてはいけない。

フランスのように「産んでいいことがある」と思える社会にしなくてはいけない。

高校無料化などはいいと思います。

塾の代わりにボランティアの人が教えてくれるとか、そういうことをしないと解決にならない。

財源の問題もありますが。

大学も欲しい人材のレベルの人を確保できない。

例えば知識が偏っているため、予備校の先生を雇って教養を教えています。

市長 高校の無償化はいいと思います。現金給付ではないですから。教育にお金がかかるという意見は多いですね。

意見 出会いのサポートの場に行くのは勇気がいります。昔は職場で飲み会やスポーツをやっていました。そこでの出会いがありましたが、それがなくなってきました。身近なところで、出会いの場を作っていくのが大事かと思います。次に夫の育児参加ですが、教員は子の病気の時の看護休暇が5日あります。昔は女性が多くとりましたが、今は男性も取るようになりました。でも、教員はめぐまれていると思います。一般企業にも進んでいけばいいと思います。教育にお金がかかるということでは、どうしても塾に入れざるをえない状況になります。高校レベルでも子どものレベルにあわせたクラス編成、個別的な指導などがあればいいと思います。

市長 市内の企業の子育てに意欲的な企業はありますか？

事務局 男女共同参画の関係では3~5社あります。企業内保育所をもつ企業もあります。

意見 昔は男が子どもの入学式に行くと、いろいろ言われました。息子は子どもの入学式とか運動会とか行っても何もいわれませんか、少しは良くなっている。今の若い人たちは4人以上で話す事が出来ない。テニスとかスキーなど二人がせいぜいです。また、私が部課長になった時に、部下を飲みにつれていくなと言われました。説教になるので、先輩に金出してもらっても説教聴くのはいやだとなる。そのへんを考えてやらないといけない。仲人さんを立てない人が90%以上いるように、違った工夫がいります。

意見 若い人だけの集まりを職場でやるのはどうでしょうか。

意見 若い人たちは運動会にも出るのが嫌だと、そういう風に育てている。
子どもころからそうになっている。
国や県、市にああしてくれ、こうしてくれというより、自分たちの子ども
たちを、こうしたいというようにならないといけないのではないでしょ
うか。

議事（２）後期計画の概要版について

事務局 資料２に基づき説明

副委員長 内容は計画書と同じですから、これでよろしいでしょうか。
意見はありませんね。
今後の予定はどうでしょうか

事務局 印刷、市民への広報等について説明

議事（３）保育所整備に関する検討会について

事務局 資料３に基づき説明
以下、主な発言

意見 政権が代わって、幼保一元化の声が大きくなってきました。
情報をよく集めて対応していただきたい。
また、保育所の規制緩和もありますから、相手先の内容をよく吟味してく
ださい。
株式会社の参入もありますから、よく検討してください。

議事（４）その他

意見 男女の出会いの場はすごく大事。
出会いを待っている人もいらっしゃるので、近隣市と連携しながら、機会
をつくっていただきたい。
結婚や子育てに夢が持てるような施策を取っていただきたい。

意見 出会いの場については、しっかりとお願いします。

事務局 担当課の方にしっかり伝えます。

意見 概要版の体裁ですが、もう少し工夫をお願いします。

意見 保育所の整備に関して、行政はどのように対応しますか。

事務局 予算をとって検討委員会を設置し、保育所のあり方について検討します。制度の変更も見極めながら、秋ごろまでにはまとめたいと思います。予算は検討委員会の予算です。検討委員会の意見を元に、必要な予算を要求してゆきますし、公立保育所の5カ年は考えて行きたいと思います。

意見 長期的な観点も必要ですね。

事務局 熱心なご協議をいただき、まことにありがとうございました。来年度につきましては、計画の実施状況等について協議会開催を予定しておりますので、引き続きよろしくごお願い申し上げます。なお、団体を代表してお願いしている委員さんで、年度切り替えで変更があった場合は、お手数でも担当までご連絡いただけますようお願い申し上げます。